資料１

令和8年度第2回滋賀県総合教育会議
子ども若者部子育て支援課



プレコン

プレコンセプションケア

滋賀県の取組

滋賀県プレコンセプションケア推進キャラクター
プレコンちゃん



プレコンセプションケアとは

性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う概念（こども家庭庁）

滋賀県保健医療計画（母子保健分野） 令和6年度～令和11年度

【目指す姿】

県民が妊娠・出産・育児について正しい理解を深め、全ての子どもが心身ともに健やかに生まれ育つことができる

≪取組の方向性(柱)≫

（1）県民にプレコンセプションケアの理解が広がり、若者が健康な生活を送ることができる
（2）妊婦が安心・安全に出産できる
（3）保護者（母親・父親等）が孤立せず、心身ともに健康な状態で子育てができる
（4）子どもが必要な支援を受けながら、健やかに成長・発達できる

≪中間アウトカム 抜粋≫

指 標	目標値（令和11年度）
プレコンセプションケアについて知っている県民の割合 （滋賀県子育てに関する県民意識調査）	20%

≪最終アウトカム≫

指 標	目標値（令和11年度）
ゆったりとした気分でこどもと過ごせる時間がある保護者の割合 （乳幼児健康診査問診回答状況）	3・4か月児：92% 1歳6か月児：85% 3歳児：75%
育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 （乳幼児健康診査問診回答状況）	平均90%
児童・生徒における痩身傾向児の割合 （学校保健統計調査）	16歳女子1.0% その他は減少

滋賀県の母子保健に関する会議

妊娠前 → 妊娠期 → 出産・誕生 → 乳幼児期 → 子育て期

母子保健推進会議

目的：母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に関する母子保健事業を推進するための施策を策定、推進する



プレコンセプションケア推進会議

小学生の頃から自分の身体を大切にし、
将来望んだ時に健やかな妊娠・出産をできる可能性を増やす
不妊・不育に関する事、性感染症のことを含む

取組の方向性1
県民にプレコンセプションケアの理解が広がり、
若者が健康な生活を送ることができる

取組の方向性2
妊婦が安心・安全
に出産できる

妊産婦ケア検討会

妊娠中の不安を軽減し産後も安心して子育てできる支援体制の確保
概ね、妊娠～産後1年の保護者（母親・父親）への支援について検討する

取組の方向性3
保護者（母親・父親等）が孤立せず、
心身ともに健康な状態で子育てができる

取組の方向性4
子どもが必要な支援を受けながら、健やかに
成長・発達できる

子どもの成長・発達支援検討会議

子どもが必要な支援を受けながら健やかに成長するとともに、保護者が孤立せず子育てがっできる体制を検討する

R7- 5歳児健康診査ワーキング部会

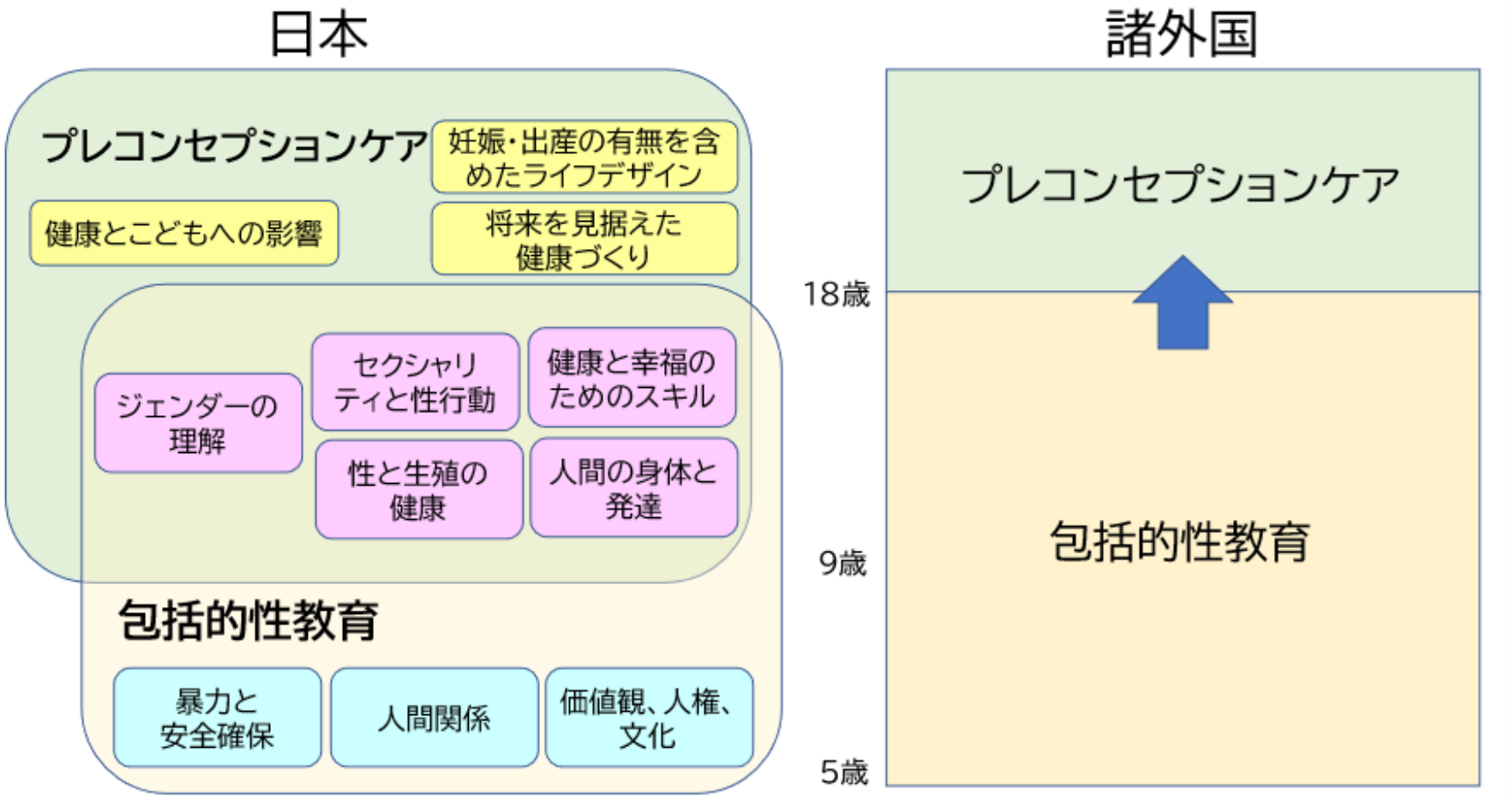
新生児聴覚検査調整会議

県母子保健担当者会議・市町母子保健担当者会議・市町産後ケア担当者会議

圏域母子保健担当者会議・圏域周産期保健医療調整会議

【整理】包括的性教育の現状について（日本と諸外国との対比）

日本においては、包括的性教育の内容が十分に行われていないことから、
前思春期（9歳～）以降を対象としたプレコンセプションケアの中に包括的性教育の内容の一部を含めている。



プレコンセプションケア推進会議

令和5年度から設置

目　的

出生数の減少、望まぬ妊娠や10代の人工妊娠中絶の割合の増加、赤ちゃんの10人に1人が低出生体重児、不妊治療の増加という課題があるなか、若い世代の男女がより健康になるための取組（プレコンセプションケア）を推進することが重要である。

また、成育基本法において、成育医療等の提供に関する施策に関し、地方公共団体の責務として、地域の特性に応じた施策を策定し実施することが定められているところである。

そのため、県の実態に応じて、若い世代の男女がより健康になるための取組（プレコンセプションケア）を推進するための方針、および計画の策定ならびに評価を行うことを目的にプレコンセプションケア推進会議を設置する

プレコンセプションケア推進会議

委員構成

滋賀医科大学医学部産科学婦人科学講座	滋賀県栄養士会
滋賀県不妊症・不育症相談支援センター	滋賀県保育協議会
滋賀県医師会	小学校代表（滋賀県養護教諭研究会）
滋賀県産科婦人科医会	中学校代表（滋賀県中学校保育体育部会）
にんしんSOS滋賀	高校代表
滋賀県薬剤師会	大学代表（滋賀県立大学）
滋賀県助産師会	私学代表（滋賀県私立中学高等学校連合会）
子育て・女性健康支援センター	企業代表（大塚製薬株式会社）
滋賀医科大学医学部看護学科	地域代表（特定非営利活動法人マイママ・セラピー）
滋賀県看護協会	滋賀県市町保健師協議会
滋賀県臨床心理士会	滋賀県保健所長会

助言者

国立成育医療センター
女性の健康総合センター
プレコンセプションケアセンター
医長　三戸　麻子　医師

事務局

健康医療福祉部　健康危機管理課　感染症係
健康医療福祉部　健康しが推進課　健康づくり係
子ども若者部　子ども若者政策・私学振興課私学振興係
教育員会事務局　保健体育課
★子ども若者部　子育て支援課　母子保健係

プレコンセプションケア推進会議で出された主な課題

課 題

- 県民のプレコンセプションケアの認知度不足
  - 周知・広報が必要
- 各年代でどのような内容を教えていくか
  - 作成した教材がどれくらい活用できているか
  - 単なる性教育ではなく将来健やかに暮らせる土台づくり
- 取組状況の学校差
- 若者を対象としたプレコンセプションケアの取組の推進
  - 多様な関係者が連携して取組を広げる仕組みづくり
- プレコンサポーターの養成と活用

保健医療計画（母子保健）取組の方向性（１）

県民にプレコンセプションケアの理解が広がり、若者が健康な生活を送ることができる



県民

・県民がプレコンセプションケアを知っている

子ども

・全ての学校（施設）が、教員（職員）がプレコンセプションケアの重要性について理解し、地域の専門家の協力を得ながら、プレコンセプションケアを推進できる
・子どもの保護者がプレコンセプションケアについて理解する
・そのことにより、子ども達が、将来の妊娠・出産を含めた健康管理・ライフプランの選択が出来るようになる

若者

・若者に妊娠・出産に関する正しい情報を届け、子どもを将来産みたいと考える人が、必要な行動（生活習慣の改善や、検査や受診を行う）を取れるようになる

滋賀県の取組



県民がプレコンセプションケアを知っている

キャラクターと啓発動画の作成

・令和6年度
　キャラクターの作成（プレコンちゃん）
　クイズ動画・若者編動画等の作成
・令和7年度
　プレコンちゃん新ポーズの作成
　若者向け啓発動画作成（ショート10本）

・令和8年度
　動画とプレコンちゃんの活用
　「滋賀プレコンチャンネル」

子ども：全ての学校（施設）が、教員（職員）がプレコンセプションケアの重要性について理解し、地域の専門家の協力を得ながら、プレコンセプションケアを推進できる

健康教育資材の作成と活用の推進

令和6年度完成7年度活用（中学校・高校生向けの教育資材（動画）作成・配布

①生命の神秘	②思春期の心と身体	③自分と相手の身体を大切にする	④性感染症	⑤HPVワクチン
⑥性暴力・デートDV	⑦将来に向けた身体づくり	⑧性の多様性	⑨家族って	⑩社会に出る前に

学校で実際に活用できるよう、資材を用いた研修会や模擬授業の実施(令和7年度)

・令和8年度　（小学4年生～中学校1年生　前思春期の教育資材（動画）作成

滋賀県の取組

子ども：全ての学校（施設）が、教員（職員）がプレコンセプションケアの重要性について理解し、地域の専門家の協力を得ながら、プレコンセプションケアを推進できる

外部講師派遣（プレコンセプションケア講師派遣事業）

・令和6年度～8年度
滋賀県に講師登録した専門職等を希望がある学校に対して講師を派遣して授業を実施

若者：若者に妊娠・出産に関する正しい情報を届け、子どもを将来産みたいと考える人が、必要な行動（生活習慣の改善や、検査や受診を行う）を取れるようになる

プレコンセプションケア研修会の開催

教諭や保健師助産師看護師等の専門職を対象
・令和6～8年度共通
講演「子ども・若者におけるプレコンセプションケアの取組の重要性」国立成育医療センター
・令和7年度
パネルディスカッション「各機関・各専門職の役割」
養護教諭研究会・薬剤師会・栄養士会・助産師会・滋賀医科大学
・令和8年度
取組紹介：滋賀医科大学看護学科、比叡山中学校



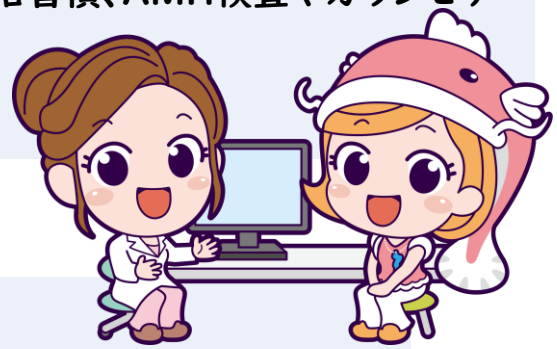
滋賀県の取組

若者：若者に妊娠・出産に関する正しい情報を届け、子どもを将来産みたいと考える人が、必要な行動（生活習慣の改善や、検査や受診を行う）を取れるようになる

AMH検査とカウンセリング、検査前後のアンケート調査を実施

（R7：妊娠・出産を含めた女性のライフプランや生活習慣に与える影響に関する調査研究事業）
（R8：こどもを将来産みたいと考えている若い女性へのライフプラン支援事業）

・令和7年度
県内の25～34歳の女性300人に、県内登録医療機関でAMH検査とカウンセリングを実施
検査前後にアンケートを実施して、妊娠・出産に関する意識や生活習慣、AMH検査やカウンセリングの効果について分析する
・令和8年度
県内の20～34歳の女性500人へ拡大



卵子凍結等の講習と費用助成

・令和8年度モデル事業
将来卵子凍結や凍結卵子を用いた生殖補助医療を考える方へ、プレコンセプションケアや卵子凍結、凍結卵子を用いた生殖補助医療に関する講習を実施
講習を受講し、指定医療機関にて補助対象と認定された上で卵子凍結や凍結卵子を用いた生殖補助医療を行った方へ、費用の一部助成を行う

これからの滋賀県のプレコンセプションケア

取組をはじめて…



性と健康は結びついているとあらためて学んだ。
健康や疾病は、社会の中でこれまでの土台がある。
性は多様。内容も捉え方も。土台も十分ではない。
だから伝えること、教えることが難しいのではないか。

保健師がプレコンセプションケアを担当する意義は、公衆衛生看護とヘルスプロモーションそのものだからと整理している。
「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」
住民や多機関と協働し、調整しながら、健康な人と健康な社会にするために取り組むこと。

プレコンセプションケアの取組を通して、子ども・若者と周囲の人が、多くの性と健康のことを学び、気づき、自分を大切にする、人を大切にすることにつながり、自己肯定感を上げ、自分のために選択することで、自分の望むライフプランを考えられ、将来に向けた健康づくりにつながる。

多くの関係者と機関と協働しながら推進していく必要がある。